

新たな総合計画 骨子案

第1章 計画策定の基本的な考え方

第1節 計画策定の趣旨

近年、台風等の自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大などにより、県民生活や経済活動に甚大な被害・影響が及んでいる。また、本県においても、今後、人口が減少していくことが見込まれており、地域経済の縮小や都市・集落の機能低下などが懸念される。

こうした中、県では、感染症や防災対策などの喫緊の課題に対応し、県民の命と暮らしを守るとともに、海と緑に囲まれた自然環境や優れた都市機能を生かし、豊かな県民生活を実現できる「千葉の未来」を切り開いていくため、新たな総合計画を策定する。

第2節 計画の性格

県政運営の基本となるもので、本県の政策の基本的方向を、総合的・体系的にまとめた県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画。

第3節 計画の構成と期間

基本構想編：10年後の本県のあるべき姿とこれを達成するための目標と政策の方向性。

実施計画編：目標を達成するために、令和4～6年度までの3か年で重点的に実施する取組。

第4節 計画の特色

(1) 半島性の克服と活用、(2) 特性・可能性を踏まえた地域の方向性、(3) 分かりやすい計画

基本構想編

第2章 本県を取り巻く環境の変化と課題

人口減少、相次ぐ災害、新たな感染症の脅威、国際競争の激化など、本県を取り巻く環境は厳しさを増しており、様々な課題に対処していく必要がある。

こうした中、令和11年(2029年)には成田空港において第3滑走路の完成等による更なる機能強化が図られる予定であり、また、圏央道が令和6年度(2024年度)に全線開通予定、北千葉道路も着実に整備が進められ、成田空港を中心とした大きな道路ネットワークも完成しつつあるなど、県全体の経済をより一層活性化させる好機を迎えている。

一方で、カーボンニュートラルの実現に向けた洋上風力発電等の再生可能エネルギーの利用拡大や、デジタル技術の更なる進展などにより、今後、社会・経済・環境など県民を取り巻く様々な分野で、急速にイノベーションが進むことが考えられる。

これらの様々な社会環境の変化をしっかりと取り込みながら、20～30年後においても、本県の活力を維持・向上させ、日本や世界に貢献するとともに、全ての県民が安全に安心して暮らしていける千葉県を築いていくためには、千葉の総力を結集し、各分野の取組を進めていくことが重要である。

- 1 感染症・災害等リスクの増大への対応 (新型コロナウイルス等の新たな感染症の脅威、大規模災害等に備えた危機管理対策の推進 等)
- 2 暮らしの安全・安心の確保 (防犯対策の推進、交通安全対策の推進、消費者の安全・安心の確保 等)
- 3 人口減少・少子高齢化への対応 (将来人口推計、少子高齢化の進行、未来を担う子どもの育成、都市や集落の機能低下、社会資本の老朽化 等)
- 4 社会経済情勢の変化への対応 (商工業等をめぐる状況の変化、成田空港の更なる機能強化、農林水産業をめぐる状況の変化、雇用環境の変化 等)
- 5 半島性の克服と活用 (道路や鉄道等交通ネットワークの充実、人や物の交流を基にした地域活性化と魅力の向上、文化芸術の承継・創造とスポーツの振興、移住・定住の促進 等)
- 6 医療・福祉ニーズの増加と健康志向の高まりへの対応 (医療・介護ニーズの増加、福祉ニーズの増加、健康づくりの推進 等)
- 7 環境保全・持続可能な社会づくり (地球温暖化対策の推進、循環型社会の構築、大気・水環境の保全、産業廃棄物の不法投棄防止、豊かな自然環境の保全、野生生物の保護と管理 等)
- 8 価値観・ライフスタイルの多様化への対応 (多様な人材の活躍や働き方の変化、共生社会の実現 等)
- 9 デジタル社会の推進 (あらゆる分野におけるAI・データの活用、ネット社会の信頼性の向上・情報格差の是正 等)
- 10 SDGsの推進 (SDGsの活用と推進 等)
- 11 行財政改革の推進 (厳しい財政状況、県の持続的発展を支える行政運営の推進 等)

第3章 千葉県が目指す姿

第1節 基本理念 ～千葉の未来を切り開く～ 「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現

社会を取り巻く環境が複雑さを増し、将来の予測が困難な中でも、県民の命とくらしを守るとともに、豊かな自然と文化、優れた都市機能を持つ千葉で、すべての県民が自身のライフスタイルを実現し、生きる価値、働く価値を感じられる「千葉の未来」を創造する。

第2節 基本目標・目指す姿

I 「危機管理体制の構築と安全の確保」

新たな感染症や大規模な自然災害に対する備えが充実している。事件・事故の不安なく安全・安心に暮らせる環境が整っている。

II 「千葉経済圏の確立と社会資本の整備」

I C T等による技術革新や脱炭素社会への対応など、社会環境の変化を確実に取り込み、次世代をリードする新しいアイデアやビジネスが本県から生まれ、経済活性化につながっている。

農林水産業が魅力ある力強い産業に育っている。

広域的な幹線道路ネットワークと社会の基盤となるインフラが整備され、半島性が克服されている。

III 「未来を支える医療・福祉の充実」

必要な時に必要な医療が受けられる体制が整い、県民の健康寿命が延伸している。

医療・福祉・地域が密接に連携し、高齢者・障害のある人等が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる環境が整っている。

IV 「子どもの可能性を広げる千葉の確立」

妊娠・出産・子育てに必要なサービスが提供され、どんな家庭に生まれた子であっても最善の未来が用意されている。

個性や能力に応じたきめ細やかな指導体制により、児童生徒一人ひとりの可能性を広げ、社会で活躍できる人材を育成する教育が行われている。

V 「誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現」

多様性を尊重し、誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会が構築され、多様な個性や様々な団体が力を発揮し、活力あふれる千葉が実現している。

VI 「独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造」

房総の豊かな自然と良好な生活環境が守られ、文化芸術の創造やスポーツ活動が活発になり、千葉の魅力として広く定着している。

「千葉の持つ魅力」がさらに高まり、本県への移住・定住が進んでいる。

第3節 県づくりの方向性

地域の特性・地理的条件等を踏まえた6つのゾーンを設定し、それぞれの地域の方向性を示すものです。

・東葛・湾岸ゾーン ・印旛ゾーン ・香取・東総ゾーン ・九十九里ゾーン ・南房総・外房ゾーン ・内房ゾーン 【詳細別紙1】

実施計画編

第4章 施策横断的な視点

第1節 県政運営を貫く3本の矢

1 千葉の総力を結集した県づくり

(1) 県と市町村等との連携強化 (2) 民間活力の積極的な利用 (3) 県民との情報共有と協働 (4) 他都道府県との広域連携

2 くらしを豊かにするデジタル技術の効果的な活用

(1) デジタル技術の効果的な活用による地域課題の解決 (2) 行政手続きの改善 (3) オープンデータ等の活用

3 県民目線に立った効果的・効率的な行政体への変革

(1) 行政基盤の確立と健全な財政運営 (2) 地方分権の推進

第2節 S D G s の推進

第3節 カーボンニュートラルに向けた取組の推進

第4節 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの活用

第5章 重点的な施策・取組

第1節 施策の内容

I 「危機管理体制の構築と安全の確保」

1 危機管理体制の構築

2 防災基盤の整備

3 くらしの安全・安心の確保

II 「千葉経済圏の確立と社会資本の整備」

1 経済の活性化

2 農林水産業の振興

3 社会資本の充実とまちづくり

III 「未来を支える医療・福祉の充実」

1 医療提供体制の充実と健康づくりの推進

2 高齢者福祉と障害者福祉の充実

IV 「子どもの可能性を広げる千葉の確立」

1 子育て施策の充実

2 教育施策の充実

V 「誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現」

1 共生社会の実現

2 連携・協働による社会づくり

VI 「独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造」

1 千葉の魅力の向上と活用

2 環境の保全と豊かな自然の活用

3 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

詳細別紙2

第2節 実施計画の政策評価

計画 (P l a n) - 実施 (D o) - 評価 (C h e c k) - 改善 (A c t i o n) というマネジメントサイクルに基づき、実施状況や達成度などを分析し、課題を把握する「評価」を毎年度実施し、必要となる「改善」を次の施策展開に反映させることで、政策の推進を図ります。

また、評価に当たっては、学識経験を有する委員から第三者の視点による意見を伺い、評価の客観性・統一性などの確保に努めるとともに、評価結果を公表し、県民から意見等を募集します。

【設定の考え方】

共通する地域特性、地理的条件、交通網の整備状況等を勘案して、以下の6ゾーンを設定。

東葛・湾岸ゾーン

【主な特性】

- ・多様な企業、大学、研究機関が集積し、本県産業の中核。
- ・東京湾臨海部には鉄鋼や食品などの企業や物流施設が集積。
- ・手賀沼、利根川、江戸川などの水辺空間。

印旛ゾーン

【主な特性】

- ・成田空港周辺や臨空工業団地を中心に物流関係企業や空港関連産業の立地が進む。
- ・千葉ニュータウンには住宅、企業、物流施設及び大型商業施設が集積。
- ・地域西部は東京への通勤圏。

香取・東総ゾーン

【主な特性】

- ・本県の農林水産業を支える地域。
- ・日本遺産の町並みや日本ジオパークに認定された地形などの多様な観光資源。
- ・茨城県との交流。
- ・再生可能エネルギーの導入。

内房ゾーン

【主な特性】

- ・日本有数の素材・エネルギー産業の企業が集積。
- ・海、山、湖などの豊かな自然環境、大型商業施設などの多様な観光資源。
- ・アクアライン、圏央道、館山道などを介した他地域との広域的な交流機能。

香取・東総ゾーン

九十九里ゾーン

【主な特性】

- ・九十九里浜をはじめとする豊かな自然環境。
- ・体験型観光、温泉などの多様な観光資源。
- ・圏央道整備効果の産業及び観光面への活用。

南房総・外房ゾーン

【主な特性】

- ・海や里山などの豊かな自然環境。
- ・体験型観光、食、温泉などの多様な観光資源。
- ・移住・定住の取組。

※ ←→ 主な人・モノ・財の流れ

- ・東葛・湾岸ゾーン : 千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市及び浦安市並びに市原市、四街道市、白井市及び八街市を中心とした地域
- ・印旛ゾーン : 成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町及び栄町並びに芝山町、八千代市、香取市、山武市、神崎町、多古町及び横芝光町を中心とした地域
- ・香取・東総ゾーン : 銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、神崎町、多古町及び東庄町並びに成田市、芝山町及び横芝光町を中心とした地域
- ・九十九里ゾーン : 芝山町、横芝光町、山武市、東金市、九十九里町、大網白里市、茂原市、白子町、長柄町、長南町、長生村、一宮町及び睦沢町並びに千葉市、市原市、成田市、匝瑳市、旭市、多古町、富里市、八街市、いすみ市及び大多喜町を中心とした地域
- ・南房総・外房ゾーン : 館山市、勝浦市、鴨川市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町及び鋸南町並びに市原市、君津市、富津市、一宮町、睦沢町及び長南町を中心とした地域
- ・内房ゾーン : 木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市及び市原市並びに千葉市、茂原市、長柄町、長南町、大多喜町、鴨川市及び鋸南町を中心とした地域

施策体系イメージ

別紙 2

大項目 (基本目標)	中項目 (政策分野)	小項目 (施策項目)	施策を構成する主な事業分野 (主な取組)	
I 危機管理 体制の構築と 安全の確保	1 危機管理 体制の構築	①感染症等健康危機への対応 力強化	○健康危機対策 ○生活様式や社会経済情勢の変化を踏まえた県内経済の力強い回復	
		②災害から県民を守る「防災 県」の確立	○令和元年房総半島台風等からの復旧・復興 ○防災連携体制の充実強化 ○自助・共助の取組強化 ○津波避難・液状化対策の推進 ○消防・救急救助体制の充実強化 ○石油コンビナート防災対策の推進 ○災害時の事業継続の促進	
	2 防災基盤の 整備	①災害に強いまちづくりの推 進	○災害に強い社会資本の整備 ○建築物・宅地の地震対策の推進 ○農林水産業における災害対策等の推進	
		3 暮らしの 安全・安心の 確保	①犯罪の起こりにくい社会づ くりと被害者等支援の充実	○自主防犯意識の向上と防犯対策の推進 ○犯罪の徹底検挙と犯罪組織の壊滅 ○サイバー空間に対する総合対策の推進 ○テロの未然防止 ○警察基盤の整備 ○DV・ストーカー防止と被害者支援の充実 ○犯罪被害者等の支援の充実 ○再犯防止対策
			②交通安全県ちばの確立	○県民総参加でつくる交通安全の推進 ○高齢者の交通事故防止対策の推進 ○自転車安全利用の推進 ○交通安全教育の充実 ○交通安全環境の整備 ○交通指導取締りの強化 ○適正かつ緻密な交通事故事件捜査の推進
③消費生活の安定と向上	○相談体制の充実 ○ライフステージに応じた学習機会の確保と消費者教育の推進 ○悪質事業者対策の強化 ○食の安全・安心の確保			
II 千葉経済圏 の整備と 社会資本の 確立	1 経済の活 性化	①産業の振興と企業立地の促 進	○京葉臨海コンビナートの競争力強化 ○新産業の振興 ○再生可能エネルギー産業等の振興 ○豊富な地域資源を生かした地域経済の活性化 ○産学官連携やベンチャー企業の育成によるイノベーションの促進 ○産業を支える技術の高度化 ○地域の特性に応じた戦略的な企業誘致の推進 ○県内企業の海外取引・輸出の促進 ○MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化	
		②中小企業・小規模事業者の 経営基盤強化	○中小企業・小規模事業者の経営力の向上 ○資金調達の円滑化 ○販路開拓の促進 ○起業・創業の促進 ○中小企業等の人材確保・育成支援 ○事業承継支援 ○商店街の活性化支援	
		③雇用対策と人材の育成・確 保	○雇用の創出と多様な就労促進 ○産業界のニーズに応える人材育成 ○多様な働き方の実現に向けた環境の整備	
		④成田空港の更なる機能強化と空 港を活用した県経済の活性化	○成田空港を活用した県経済の活性化 ○成田空港周辺地域の環境対策・地域共生策の推進 ○成田空港周辺地域の振興 ○成田空港への交通アクセスの強化	
		⑤観光立県の推進	○魅力ある観光地づくり ○観光産業の競争力強化 ○国内観光プロモーションの展開 ○インバウンドの推進	
	2 農林水産 業の振興	①次世代を担う人材の育成・確保	○農林水産業の経営力の向上 ○農林水産業を支える人材の育成・確保・定着	
		②農林水産業の成長力の強化	○スマート農林水産業の加速化 ○農地利用の最適化 ○生産基盤の強化・充実 ○水産資源の管理と維持増大 ○農林水産物の安全確保と消費者の信頼確保 ○環境に配慮した農林水産業の推進 ○試験研究の強化	
		③市場動向を捉えた販売力の 強化	○需要を捉えた販売の促進 ○新たな販路開拓に向けた輸出促進 ○地域資源を活用した魅力ある商品づくり ○生産者と消費者の結びつきの強化	
		3 社会資本 の充実とまち づくり	①半島性を克服する交通ネッ トワークの強化	○公共交通ネットワークの充実・確保 ○交流を支える道路ネットワークの整備・有効活用 ○港湾の整備・振興
			②社会資本の適正な維持管理	○既存施設の適正な維持管理と長寿命化 ○安全で良質な水の安定供給
③人と環境にやさしい住ま い・まちづくりの推進	○時代の変化に対応したまちづくりの推進 ○安全・安心で魅力あふれるまちづくり ○バリアフリー化の推進 ○環境・景観に配慮した整備・保全 ○豊かな住生活の実現			
III 医療・未 福祉を支 える	1 医療提供 体制の充実と 健康づくりの 推進	①医療提供体制の充実	○医療機関の役割分担と連携の促進 ○在宅医療の充実 ○救急医療体制の整備 ○医師・看護職員確保・定着対策と地域医療格差解消に向けた取組の推進 ○周産期・小児救急医療体制の整備 ○自治体病院への支援 ○県立病院の充実強化	
		②生涯を通じた健康づくりの 推進	○県民主体の健康づくりの推進 ○生活習慣病の発症予防と重症化防止対策の推進 ○総合的な自殺対策の推進 ○総合的な自殺・引きこもり等の対策の推進	
	2 高齢者福祉 と障害者福祉 の充実	①高齢者福祉の充実	○生涯現役社会の実現に向けた環境整備と高齢者の健康づくりの促進 ○地域包括ケアシステムの推進体制構築への支援 ○医療・介護連携の推進と地域生活を支える介護・生活支援サービスの充実 ○高齢者が暮らしやすい住まい・まちづくりの推進 ○福祉・介護人材確保・定着対策の推進 ○高齢者の尊厳を守りながら地域で支え合う仕組みづくりの推進 ○認知症の方や家族の方などに対する総合的な支援の推進	
②障害者福祉の充実		○入所施設等から地域生活への移行の推進 ○精神障害のある人の地域生活の推進 ○障害のある子どもの療育支援体制の充実 ○障害のある人の相談支援体制の充実 ○障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実 ○障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実 ○障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進		
IV 広げる 子どもの 可能性を	1 子育て施 策の充実	①妊娠・出産・子育て環境の 整備	○結婚や妊娠・出産の希望をかなえるための支援 ○健康で安心な子育て環境づくりと経済的負担の軽減 ○働きながら産み育てやすい環境づくり ○男女が協力して子育てできる環境づくり	
		②地域による子育て支援の充実	○待機児童の解消に向けた保育所整備等の促進 ○保育人材の確保と資質の向上 ○多様な子育て支援サービスの充実 ○企業参画による子育て支援	
		③子どもの健やかな成長と自 立	○子どもの成長の支援と家庭教育力の向上 ○若者の経済的自立と就労支援 ○児童虐待防止と社会的養護が必要な子どもへの支援の充実 ○子どもの貧困対策の推進	
	2 教育施策 の充実	①未来を切り拓く人材の育成	○人生を主体的に切り拓くための学びの確立 ○豊かな心を育む教育の推進 ○生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進 ○共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進 ○学びを将来へとつなぐ系統的なキャリア教育の推進 ○人格形成の基礎を培う幼児教育の充実 ○郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成	
		②子どもたちの自信を育む教 育の土台づくり	○人間形成の場としての活力ある学校づくり ○教育現場の重視と教職員の質・教育力の向上 ○多様なニーズに対応した教育の推進	
		③地域全体で子どもを育てる 体制づくり	○全ての教育の出発点である家庭教育への支援 ○家庭・地域と学校との協働により地域全体で子どもを育てる体制の構築	
④青少年の健全育成	○困難な状況や特に配慮を要する子ども・親の支援 ○非行・犯罪防止と立ち直り支援 ○多様な主体による取組と関係機関の機能強化 ○子どもを守る環境整備と情報化社会への対応			
V 合きの 人 実る・ら 誰 現社分し 会かくが のり生そ	1 共生社会 の実現	①多様な個性が力を発揮でき る社会の実現	○誰もがその人らしく生きられる千葉の実現 ○多様な人材の活躍の促進	
		②男女共同参画の推進	○男女共同参画社会の実現に向けた意識の変革と情報発信 ○男女がともに活躍できる環境づくり	
2 連携・協働に よる社会づくり	③多文化共生の推進	○国際交流・国際協力の推進 ○外国人県民と共に安心して暮らせる社会づくり		
VI 独自の 自然 文化を 生かした 魅力 ある	1 千葉の魅 力の向上と活 用	①半島性を活用した「千葉」の ブランディングと移住・定住の 促進	○「千葉」の魅力の戦略的な発信 ○農林水産物のブランド化 ○海のブランド化 ○文化のブランド化 ○地域の特性を生かした移住・定住の促進	
		②地域の特色を生かした農山 漁村の活性化	○農山漁村における地域資源の活用 ○農山漁村を支える活力の創出 ○集落機能の維持・保全 ○有害鳥獣被害の対策強化 ○海・漁業を生かした海辺の活性化	
	2 環境の保 全と豊かな 自然の活用	①地球温暖化対策の推進	○再生可能エネルギー等の活用促進 ○省エネルギーの促進 ○温暖化対策に資する地域環境の整備・改善 ○気候変動の影響に対する適応の推進	
		②循環型社会の構築	○資源循環の基盤となる産業づくり ○3Rを推進するためのライフスタイルづくり ○廃棄物等の適正処理の推進 ○ヤード等対策の強化 ○産業廃棄物の不法投棄の根絶に向けた監視・取締りの強化 ○再資源化に向けた県の取組の推進 ○環境学習等の推進	
		③豊かな自然環境と大気・水 環境の保全	○豊かな自然環境の保全と快適な利用促進 ○良好な大気環境の確保 ○騒音の少ない暮らしの確保 ○良好な水環境・地質環境の保全 ○多様な環境問題に関する調査・研究及び環境情報の提供	
		④野生生物の保護と適正管理	○生態系の保全と希少な野生生物の保護・回復 ○特定外来生物の早期防除 ○有害鳥獣対策の強化	
	3 千葉の特 徴・歴史を 生かした文 化・スポ ーツ振興	①文化芸術の振興	○あらゆる人々が文化芸術を享受できる環境づくり ○ちばの多様な文化芸術が輝き続ける地域づくり ○新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり ○次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術にふれる機会づくり ○ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信	
②スポーツの振興		○人生を豊かにするスポーツの推進 ○誰もがともに楽しめるパラスポーツの推進 ○スポーツ環境の整備・充実 ○競技力の向上 ○スポーツの価値の発信		

※SDGs、カーボンニュートラル、オリパラレガシーについては、横断的な視点として活用される。

※今後、基本理念の内容を踏まえながら、施策を体系化していく。